

令和3年度 事務事業評価シート

施策	533	国際理解を深め、平和への意識を高める	部内優先順位
事業名	自主企画イベント(平和メッセージ)事業		1
目的	「墨田平和福祉都市づくり宣言」(平成元年1月11日 告示3号)に基づき、平和を祈念する事業を行う。		主管課・係(担当)
			文化芸術振興課文化行事担当 03-5608-6181(内5453)
対象者	区内外すべての人々		
根拠法令 関連計画	なし		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤職員3人、会計年度任用職員1人
事業内容	3月10日に合わせ、区役所1階アトリウムにおいて、折り鶴による平和のオブジェ制作・展示、著名人等の平和メッセージの展示、平和祈念コンサート(親日本フィルハーモニー交響楽団の協力)を行う。		
経過	開始年度	平成3年度	終了予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度より区民人口が23万人に達したため、事業名を改めた。 ・平成19年度より区民人口が24万人に達したため、事業名を改めた。 ・平成22年度より区民人口が25万人に達したため、事業名を改めた。 ・平成27年度より区民人口が26万人に達したため、事業名を改めた。 ・平成30年度より区民人口が27万人に達したため、事業名を改めた。 ・令和元年度から折鶴再生粘土を作成 		
議会質問の状況	・平和のオブジェはいつまでちばてつや先生の絵を使うことができるのか。 →オリンピック・パラリンピックまでで、延期に伴う使用延長の了解も得た。(令和2年10月22日決算特別委員会)		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		1,696	1,703	1,713	3,068	2,958	2,923
A.決算額(令和3年度は見込み)		1,599	1,607	1,704	2,991	2,657	2,923
財源	国						
	都						
	その他	402					
一般財源		1,197	1,607	1,704	2,991	2,657	2,923
執行率(%)		94.3%	94.4%	99.5%	97.5%	89.8%	100.0%
B.人コスト				5,907	5,243	4,675	
総事業決算額(A+B)		1,599	1,607	7,611	8,234	7,332	
主な事業費用の説明		・オブジェ等制作委託に加え、令和元年度から折鶴再生粘土委託費が付いた。					
予算書P(令和3年度)		P120 4-2		執行実績報告書P(令和2年度)		P54 上段2	

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	平和メッセージ応募者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,525	R7	目標	1,300	1,325	1,350	1,375
				実績	1,306	967	864	913
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	1,400	1,425	1,450	1,475	1,500	1,525	
	実績	924						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	平和メッセージは、例年、各界著名人をはじめ、区内外から多数の応募がある。これらを展示することで墨田区に訪れた方々の、平和意識の向上につながると考えられるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	平和祈念コンサートの来場者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
200		R7	目標	180	190	200	200	
			実績	200	120	120	—	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	200	200	200	200	200	200		
実績	200							
指標の選定理由及び目標値の理由								
毎年3月に行う平和祈念コンサートは、平和のオブジェのお披露目も含まれ、来場者数が事業の趣旨の浸透度の指標となると考えられるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、本区における「墨田平和福祉都市づくり宣言」を具現化した唯一の事業であり、毎年新聞紙上でも紹介されるなど、本区の平和福祉都市づくり実現に向けて大きな役割を担っている。また、折り鶴やオブジェの制作・平和メッセージには多くの区民が積極的に参画していることから、この思いを区内外に継続して発信していく必要がある。

課題・問題点
引き続き、企画・内容に工夫を凝らし、事業のマンネリ化を防ぐため、変化を持たせながら本事業の魅力を更に高め、実施していく。 平和のオブジェの折り鶴については、残った物については、翌年も使用することとしているが、在庫が余剰となっている。

施策	533	国際理解を深め、平和への意識を高める			部内優先順位
事業名	海外諸都市との交流推進経費				2
目的	区民を主体とした交流事業を支援することを通じ、区民の国際理解を深まっている。				主管課・係(担当)
					文化芸術振興課 都市交流・国際担当 03-5608-1459
対象者	海外諸都市 国際交流を行う区民				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2
事業内容	平成9年12月に友好協定を締結した中華人民共和国北京市石景山区及び平成15年10月に友好協定を締結した大韓民国ソウル市西大門区との交流を推進する。また、パリ市7区をはじめ、他の海外諸都市との交流や視察受け入れ等を行う。				
経過	開始年度	平成9年	終了予定		
	北京市石景山区とは行政交流が主体となっている。令和元年度は、副区長を団長とする訪問団が墨田区へ来訪し、区長表敬及び議長表敬を実施した。 ソウル特別市西大門区とは民間交流が主体となっており、毎年墨田区サッカー協会が主催で相互の区を訪問し、サッカー交流をしている。 パリ市7区とは、平成24年度より文化交流をしている。令和元年度は、パリ市7区公式訪問団を派遣し、パリ市7区庁舎において、今後の交流について親書を取り交わした。				
議会質問の状況	令和2年9月定例会 来年度以降、多文化共生社会の実現のための国際交流活動についてどのように考えているか (区長答弁)新たに設立されるNPOを含め、関係者との連携を図りながら実現を目指す。新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な影響が生じている。人の往来が制限されている状況を見極めつつ、オンラインツールも活用しながら、ウィズコロナとアフターコロナにおける国際交流活動を行っていく。				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和3年7月 日韓サッカー交流(墨田区サッカー協会主催) ※新型コロナウイルスの影響により中止 時期未定 パリ市7区との文化交流事業(パリ市7区庁舎内での展示) ※オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴い、本事業も令和3年度に延期。				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		1,071	3,494	2,442	5,274	400	2,482
A.決算額(令和3年度は見込み)		545	2,427	1,367	4,727	155	2,083
財源	国						
	都						
	その他					99	
一般財源		545	2,427	1,367	4,727	56	2,083
執行率(%)		50.9%	69.5%	56.0%	89.6%	38.8%	83.9%
B.人コスト				5,907	5,243	5,293	
総事業決算額(A+B)		545	2,427	7,274	9,970	5,448	
主な事業費用の説明		親書のやり取り等に係る通訳・翻訳ボランティアへの報償費 視察等受入れに係る記念品の購入費 パリ市7区との文化交流事業に係る委託料 海外友好都市交流事業への助成金					
予算書P(令和3年度)	P119 3-2	執行実績報告書P(令和2年度)			P53 下段2		

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	海外友好都市等の行政交流回数 (文化芸術振興課所管事業のみ)				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4	R7	目標	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	4	4	4	4	4
	実績	3						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	海外友好都市との交流は、政治や社会情勢の影響を受けやすく、継続することが重要である。そのため、民間交流ができなかった場合でも、行政交流は続けていく必要がある。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	民間同士の交流回数				単 位	回
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3		R7	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		2	2	2	2	2	3	
実績	-							
指標の選定理由及び目標値の理由								
友好都市協定を基礎として、民間交流が継続的に行われることが、本事業の成果として重要であるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	これまで10年間に渡り交流を進めてきたパリ市7区との交流をさらに進展させるため、令和元年度、区長の公式訪問を行い、今後の交流について、親書の交換を取り交わした。今年度はパリ市7区との交流を深めるため、パリ市7区で墨田区のことを紹介する展示を実施する予定である。また、他の友好都市とも交流を深める。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での交流が困難となっている中、オンラインの活用等、従来とは違った形の交流を検討することが、今後の課題となる。また、オリパラ終了後のレガシーも含めた国際交流活動のあり方を検討する必要がある。

補助金 名称	墨田区国際交流事業助成金		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区国際交流事業助成金交付要綱		文化芸術振興課 都市交流・国際担当			
補助概要	海外友好都市との交流事業を企画・実施する団体に対し、経費の一部を助成する。		03-5608-1459			
目的	区民を主体とした交流事業を支援することを通じ、区民の国際理解を深まっている。					
対象	墨田区民が主体となって活動している団体					
基準	区独自基準					
補助条件	次の各号に掲げるすべての要件を満たす団体 (1) 構成員の2分の1以上が墨田区民であり、かつ、墨田区民が主体となって活動していること。 (2) 営利活動を目的としていないこと。 (3) 政治活動又は宗教活動を行っていないこと。 (4) 規約又は会則を備え、民主的な運営が行われていること。 (5) その他区長が不相当と認める行為を行っていないこと。					
経過	開始年度	平成4年度	終了予定			
	平成4年の「墨田区国際化交流推進検討委員会答申」を受け、助成金創設 近年は、韓国ソウル特別市西大門区と少年サッカー交流を行う、墨田区サッカー協会に対し、助成金を交付している。					
議会質問 の状況	令和2年9月定例会 多文化共生社会の実現のための国際交流活動について （区長答弁）新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な影響が生じている。人の往来が制限されている状況を見極めつつ、オンラインツールも活用しながら、ウィズコロナとアフターコロナにおける国際交流活動を行っていく。					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和3年7月 日韓サッカー交流（墨田区サッカー協会主催） ※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		300	300	300	300	300	300
決算額（令和3年度は見込み）		300	300	300	300	0	0
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		300	300	300	300	0	0
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	民間同士の交流				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		3	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2	2	2	2	2	2	
実績		-						
指標の選定理由及び目標値の理由								
友好都市協定を基礎として、民間交流が継続的に行われることが、本事業の成果として重要であるため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		継続的に行われている民間交流であるため、今後も実施していく方向である。						

課題・問題点	
<p>民間主体の交流は、墨田区サッカー協会の交流事業のみであることが問題点である。 民間主体の交流を増やしていくのが今後の課題である。</p>	